

1991	平成3年9月9～13日 「UNDP/IAEA/RCA工業利用放射線プロセスの安全性に関する地域訓練コース」を開催	1995	平成7年2月23日 半導体製造設備用空気清浄フィルターを開発 (㈱荏原製作所と共同)		
	平成3年10月20日 イオン照射研究施設利用委員会設置		平成7年4月5日 分離機能が外部環境で制御できる高分子膜を開発 (ドイツ・重イオン研究所(GSI)と共同)		
	平成3年11月5～8日 国際会議「ビーム利用研究の新展開」を開催		平成7年4月6日 宇宙用太陽電池の寿命評価技術を確立、キク6号の寿命評価に貢献		
	平成3年11月 タンデム加速器の研究利用運転開始		平成7年5月23日 電子ビームによる石炭火力発電所排煙処理法、既存の排煙処理法を上回る性能、経済性を達成		
	平成4年2月21日 イオン照射研究施設完成記念行事実施		平成7年7月30日 微小重力による放射線損傷の回復促進をスペースシャトル実験で見		
	平成4年2月25～26日 第1回宇宙用半導体素子放射線影響国際ワークショップを開催		平成8年2月15日 PVA応用創傷被覆材の開発		
	平成4年2月28日 新技術事業団と「電子線照射による高耐熱炭化ケイ素繊維の製造技術の新技術に関する開発及び開発成果の実施に関する契約」を締結		平成8年2月22日 有用金属捕集材の有効性を海洋実験で実証		
	平成4年3月25日 フォロスコ・フィリピン科学技術大臣来所		1996	平成8年4月15日 イオンビーム照射で紫外線耐性植物を作出	
	平成4年3月26日 RCA政府専門家会合を開催			平成8年7月24日 病原性大腸菌O-157を放射線で効率的に殺菌できることを確認	
	1992		平成4年6月22～23日 第1回TIARA研究発表会を開催	1997	平成9年7月5日 捕集材で捕集した海水ウランを、高純度イエローケーキに加工
平成4年6月29日 電子ビームによる都市ごみ燃焼排煙処理のパイロット試験を開始(松戸市・NKKと共同)		平成9年12月5日 電子ビームによる揮発性有機化合物の無害化技術を開発			
平成4年9月16日 AVFサイクロトロンの24時間連続利用運転開始		平成9年12月19日 高感度イオンビーム検出用フィルムの開発(日本大学と共同)			
平成4年10月5日 フッ素樹脂の液着性を改善(倉敷紡績㈱と共同)		平成9年12月24日 TIARAでカクテルビーム加速技術を実用化			
平成4年10月6～8日 第35回放射線化学討論会を開催		平成10年3月23日 放射線架橋により耐熱性向上に成功した生分解性ポリカプロラク톤の開発			
平成4年10月26～30日 「UNDP/IAEA/RCA環境保全専門家会合」を開催		1998	平成10年6月25日 イオンビームで新花色のキクを作出		
平成4年10月29日 谷川寛三科学技術庁長官御視察			平成10年8月27日 植物体内を透視可能なポジトロンイメージング装置(PETIS)を開発		
平成4年11月2日 電子ビームによる石炭燃焼排煙処理のパイロット試験を名古屋市で開始(中部電力、㈱荏原製作所と共同)			平成10年中 水素終端されたSiについて反射高速陽電子回析パターン観測に成功		
1993		平成5年4月12日 高崎研究所開所30周年記念講演会を開催(高崎市)	1999		平成11年2月17日 細胞内元素分析用のマイクロPIXE分析装置を開発 (東北大学と共同)
		平成5年5月24日 イオン照射研究施設第2期工事完成			平成11年6月24日 超耐放射線性モーターを開発
	平成5年6月3日 放射線に強いフッ素樹脂を開発	平成11年7月29日 原研ベンチャー企業第1号が誕生			
	平成5年11月5日 宇宙用半導体におけるシングルイベント効果の現象を解明(宇宙開発事業団と共同)	平成12年3月31日 ベンチャー棟竣工			
	平成6年1月19日 イオン照射研究施設完成	2000		平成12年6月13日 原研ベンチャー企業第2号認定	
1994	平成6年7月4日 超耐熱性炭化ケイ素繊維を開発(日本カーボン㈱と共同)				